

マスターズ甲子園とは…

「マスターズ甲子園」は、全国の高校野球OB/OGが、性別、世代、甲子園出場、非出場、元プロ、アマチュア等のキャリアの壁を越えて出場校別に同窓会チームを結成し、全員共通の憧れであり野球の原点でもあった「甲子園球場」で白球を追いかける夢の舞台を目指そうとするものです。

基本理念

2004年の第1回大会として始動し、今後は日本の「フィールド・オブ・ドリームス」として、全国200万人と推計される元高校球児による各地域でのOB/OG野球クラブの活性化、生涯スポーツとしての野球文化の発展、熟年(マスターズ)世代と共に高校野球球児を含めたユース世代にも応援メッセージを発信しながら、活力と夢に満ち溢れた個人、地域、社会、未来への創造と発展に寄与していくことを目指します。

兵庫県加盟校一覧 25校

報徳学園 津名 市西宮 西宮北 三田学園 須磨東 洲本 神戸国際大附属 甲南 三原 洲本実業 県芦屋
神戸村野工業 市神港 尼崎北 神戸弘陵学園 高砂南 北須磨 県西宮 赤塚山 伊丹北 明石 甲陽学院 姫路東
尼崎小田

歴代優勝校

2005年度 報徳学園	2006年度 津名	2007年度 報徳学園	2008年度 洲本
2009年度 報徳学園	2010年度 市尼崎	2011年度 市尼崎	2012年度 神戸国際大附属
2013年度 三原	2014年度 神戸村工業	2015年度 市神港	2016年度 神戸村工業
2017年度 伊丹北	2018年度 伊丹北	2019年度	



第15回マスターズ甲子園兵庫予選大会の開催おめでとうございます。今大会から兵庫県大会の聖地、明石球場での開催が出来たことを大変嬉しく思います。高校時代はこの球場で様々な「涙」を流したことと思いますが、母校のユニフォームを着て再び青春時代を思い出していただき、夢の甲子園を目指し頑張りたいと思います。

皆様のご健闘を心から応援します。

兵庫県議会議員 北口 寛人

大会役員・運営スタッフ(敬称略)

樽谷清太郎(マスターズ甲子園大会特別顧問)
高橋尤二(マスターズ甲子園顧問)
北野賀大(マスターズ甲子園兵庫県会長(報徳学園))
中小路益也(マスターズ甲子園兵庫県幹事長(神戸国際大附属))
古栗健二(マスターズ甲子園兵庫県会計(洲本))
幹事
浅原慎太郎(市神港) 谷口和博(尼崎小田)
岩田康秀(洲本実) 高橋学人(明石) 馬場重行(県芦屋)
南 勝巳(三田学園) 森 文昭(三原) 田中総司(伊丹北)
榊田清紀(姫路東) 伊藤秀樹(津名) 白濱 努(須磨東)
新留賢一(甲南) 大西一弘(高砂南) 篠田大輔(甲陽学院)
徳光尚人(尼崎北) 堺 謙一(神戸弘陵) 赤松 竜(赤塚山)
高井 貢(北須磨) 角崎有一朗(県西宮) 稲岡林平(市西宮)
早川 仁(西宮北) 前田昌則(神戸村野工)



◆◆◆◆◆平成31年(2019年) 第15回 兵庫県大会ローカルルール決定事項◆◆◆◆◆

- 7回制で、1～4回まで34歳以下のチームで行い、5～7回まで35歳以上のチームで行う。
・試合時間は2時間を目途として、1回～4回までは70分 5回～7回は、50分を目安とする。
・攻守交替を早くし、投球練習は5球までにする。
・先攻が有利にならないようヤング、オールドの最終インニングの裏まで出来るようにすること。
(最終インニングまで行けないと両チームが判断した場合、次のインニングに入る前に両チーム協議の上、そのインニングの表裏で決着をつける。)
- ピッチャーは、25歳以上2回(6アウト)まで。2人目は30歳以上が投げる事。(基本2回まで)
・1チーム4人以上の投手が必要となる。
- 平成31年4月1日時点で35歳の方がオールドチームになる。
(昭和58年～59年3月末生まれ迄がオールドチームになる。昭和59年4月以降生まれは34歳以下のヤングチームです。)
- ユニフォームは統一してなくても良いが、背番号は必ず付ける。ヤングとオールドの背番号が重複しても良い。
- DH有り、9人打者制とする。
- 塁審は、その日試合があるチームから前半2人、後半1人又は、前半1リ後半2人出す。
第一試合の審判は、その日の第三試合のチームが準備する。
第二試合の審判は、第一試合のチームがする。
第三試合の審判は、第二試合のチームがする。
- 同点の場合は、最後に出ていた選手9人が1列に向い合って、一斉にジャンケンし5人以上勝った方が勝者になる。
ただし、決勝戦はオールドチームの延長戦で決着をつける。(あくまで投手は2インニングまで)
延長戦は、ノーアウト満塁のタイブレーク方式で、打者は継続打順とする。
- ランナー1、3塁でのピッチャーの偽投は、ボークになる。(平成26年4月からルール改訂)
*3塁にけん制する振りをして1塁へ投げた場合
*プレートを外している場合は問題ない。
*ホームベース上はコリジョンルールを適用し、その他の塁上でも怪我防止のため危険なスライディングや衝突はしない。
- 試合球は各チーム3球づつ出す。大ファール等でボールが無くなった場合は、無くしたチームが補球する。(試合球は新規格球のマルエス球に限る。)
- 審判代は、1人1日¥5,000。(交通費、弁当代含む) とする。
- 棄権する場合は、試合をする週の木曜日までに相手校と北野会長へ連絡しメールがする。
・県営球場を使用する場合、棄権はなしとする。(人数が足りない場合、相手チームに相談して交流試合をしていただきます。)
- 雨天中止の決定について、県営球場以外は前日土曜日の昼の降水確率80%以上としそれ以下の場合は、グラウンド主催者に委ねる。
・県営球場を使用する場合は、当日の朝グラウンドで判断される。
- 試合中に雨が降り、続行不可能となった場合、6回表裏終了していれば試合成立とする。それ以外は、再試合となる。
- 今年は甲子園枠があるので、野球部以外のOBを入れてはならない。